

World Tourism Day 記念イベント：観光教育フォーラム 2015

大観光時代の観光教育について考える

—10億人の観光客、10億回のチャンス—

One Billion Tourists, One Billion Opportunities

9月27日は国連世界観光機関（UNWTO）が定めた世界観光の日（World Tourism Day）として、1980年より毎年のテーマによって世界各地でセミナー、イベントが開催されています。

今年は、「10億人の観光客、10億回のチャンス」というテーマを受け、「大観光時代の観光教育について考える」と題して、フォーラムを開催いたします。本フォーラムでは、モビリティが向上し世界中の多くの人びとが観光を楽しむことができるようになった時代に、国や地域、観光産業は、観光客および観光の機会の増加にどのように対処していく必要があるのか、さらには観光教育において、こうした現象を持続可能性といった視点から検証できる力をどのように育てていくことができるのかという視点から、テーマにアプローチしていきます。

ゲストスピーカーに、マリオ・ハーディ氏（太平洋アジア観光協会：PATA CEO）とリチャード・シャープリー氏（セントラル・ランカシャー大学教授、和歌山大学特別主幹教授（University Professor））のお二人をお招きし、それぞれ産業界および教育界の立場から現代の観光と観光教育のあり方についてお話いただきます。お二人が揃って講演されるまたとない機会です。皆様方のご参加をお待ちしております。

日時 2015年 **9月27日**（日） **13:30～17:00**

会場 **和歌山大学観光学部 T-101 教室**（和歌山市栄谷 930 番地）

プログラム 12:45～受付
13:30 開会（主催者、EU インスティテュート関西 代表挨拶）
13:45 講演1 「Tourism Education: Trends in Asia and the Pacific（仮）」
Mr. Mario Hardy（太平洋アジア観光協会：PATA CEO）
講演2 「Tourism and higher education:
Nurturing leadership for one billion opportunities（仮）」
Prof. Richard Sharpley（セントラル・ランカシャー大学 教授）
質疑応答
15:50 閉会
16:00～17:00 ティーレセプション／ネットワーキング
※講演は英語で行われます。

参加申込方法 「お名前」「所属」「ご連絡先（自宅・携帯電話）」「レセプション参加の有無」をご記入のうえ、「メール」もしくは「FAX」で下記までお申込みください。

参加申込期日 2015年9月17日（木）

参加費 無料

参加申込・お問い合わせ先 和歌山大学観光学部 観光教育研究センター
〒640-8510 和歌山市栄谷 930 観光学部棟 2階 K208 室
TEL/FAX 073-457-8553 / E-mail tourism-er@center.wakayama-u.ac.jp

講師紹介



Mr. Mario Hardy

Chief Executive Officer,
Pacific Asia Travel Association (PATA)

2014年11月より現職。同氏は、航空業界でのキャリアに加え、投資家としての顔や、企業経営の経験も持つ。さらに、環境保護、文化や遺産の保全、教育支援に配慮した観光開発の支援を進めるNPO団体であるBoard of Trustees of the PATA Foundationの議長も務めた。公私に渡り世界各国で過ごし、アジアでも10年以上のキャリアを積む中、TechCrunch、National Geographic、TED Talkといったメディアへの発信も精力的に行っている。

◆ 太平洋アジア観光協会：PATA

ホームページ：<https://www.pata.org/>

PATAは60年以上に渡り、アジア太平洋地域における旅行・観光分野の発展を促進する国際的なNPO団体である。90以上の政府や地域の観光機関、50近くの航空や船舶関連の組織の他、多数の観光産業の企業や団体を支援、協力している。和歌山大学観光学部は2013年度からPATAメンバーに加盟している。



Prof. Richard Sharpley

Professor of Tourism & Development
School of Sport, Tourism & The Outdoors
University of Central Lancashire

ノースアンブリア大学（観光学教授）、リンカーン大学教授（観光学教授、ツーリズム・レクリエーションマネジメント学部長）を経て現職。ツーリズム研究の中心的学術誌 Tourism Planning & Development、Annals of Tourism Research 他の編集委員を務める。主な研究領域は「観光と開発」「島嶼圏における観光」「ルーラルツーリズム」「観光社会学」など。
〔主な著書〕

- Tourism and Development in the Developing World (2008, with David Telfer)
- Tourism, Tourists and Society, 4th Edition (2008)
- The Darker Side of Travel; The Theory and Practice of Dark Tourism (2009, with Philip Stone)
- Tourism, Development and Environment: Beyond Sustainability (2009)
- Tourist Experience: Contemporary Perspectives (2011, with Philip Stone)

後援団体紹介

EU インスティテュート関西 (EU Institute in Japan, Kansai)



ホームページ：<http://euij-kansai.jp/index>

EU (欧州連合) に関する教育・学術研究の促進、広報活動の推進や情報発信を通して日・EU 関係の強化に貢献するため、欧州委員会の全面的な協力を得て、神戸大学 (幹事校)・関西学院大学・大阪大学からなるコンソーシアムとして2005年4月に設立 (現在はコンソーシアムメンバー校3校・協定校5校)。EUに関する包括的な研究・教育活動を活発に行っている。和歌山大学は2012年8月より協定校となっている。

世界観光の日 (World Tourism Day : WTD)

ホームページ：<http://wtd.unwto.org/>

9月27日は、国連世界観光機関 (UNWTO) が定めた世界観光の日 (World Tourism Day) である。観光の重要性とその社会的、文化的、政治的、そして経済的な価値への理解を深めるため、1979年に制定・1980年に施行された。毎年異なるテーマが設けられ、この日にあわせて世界各地で様々なイベントが開催されている。今年のテーマは“ One Billion Tourists, One Billion Opportunities (10億人の観光客、10億回のチャンス)” である。

※2015 World Tourism Day キャンペーンサイト (UNWTO) :

<http://1billiontourists.unwto.org/>

和歌山大学観光学部では、2014年から本イベントに参加しており、今回は和歌山市役所および和歌山大学観光学部棟にて、地域での観光振興に関わる活動を紹介するパネル展示を行った。

会場へのアクセス



新大阪	なんば	南海本線特急で約50分	和歌山大学前	バスで約4分、自転車で約10分、徒歩で約20分
大阪	天王寺	JR阪和線快速で約70分	JR和歌山	和歌山バスで約30分
		JR阪和線紀州路快速で約90分		
		JR特急くろしおで約60分		
JR紀伊田辺	JR御坊	JR特急くろしおで約45分	和歌山大学前	バスで約4分、自転車で約10分、徒歩で約20分
		JR特急くろしおで約70分	南海和歌山市	和歌山バスで約20分
			JR和歌山	和歌山バスで約30分

詳細は、和歌山大学 HP「交通アクセス」をご覧ください。
<http://www.wakayama-u.ac.jp/about/access.html>